

議題(1) 被災者の住まいの確保

項目	現状(これまでの取組、課題等)																								
<p>(1) 被災者の住まいの確保について(恒久的住まいへの移行支援、確保)</p>	<p>現在、県全体で仮設住宅等に約2万世帯、約4万7千人の被災者が生活しており、1日も早い住まいの再建に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p><b>1 恒久的住まいへの移行支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域支え合いセンターによる訪問調査等で、供与期間終了後の住まい確保について、不安を抱える意見が多い。</li> <li>○応急仮設住宅の供与期間(原則2年間)の終了までに、全入居者の住まい確保(恒久住宅への移行)が必要。入居者が資金面など様々な課題を抱える中で、住まい確保の促進に向けた支援制度内容の検討及び制度設計が必要。</li> </ul> <p><b>2 恒久的住まいの確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○熊本市では、経済的な理由等により自宅再建や民間賃貸住宅への転居が困難な被災者の恒久的な住宅の確保策として、市営住宅等の既存ストックの活用を基本とし、既存ストックの不足地域に対応するため、昨年12月の段階で、災害公営住宅を150戸程度整備することとしていた。</li> <li>○本年2月に実施した市営住宅等への入居意向調査では、入居希望者が約1,200世帯となったことから、災害公営住宅の整備とともに、市営住宅の空き室修繕を行うなど、被災者への提供に向け準備を進めている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>&lt;参考&gt;仮設住宅等の入居状況(平成29年4月30日現在)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>応急仮設住宅</td> <td>4,157戸</td> <td>10,894人</td> <td>(うち熊本市</td> <td>517戸(12%)</td> <td>1,338人)</td> </tr> <tr> <td>みなし仮設住宅</td> <td>14,895戸</td> <td>34,201人</td> <td>(うち熊本市</td> <td>9,843戸(66%)</td> <td>21,630人)</td> </tr> <tr> <td>公営住宅等</td> <td>1,157戸</td> <td>2,523人</td> <td>(うち熊本市</td> <td>814戸(70%)</td> <td>1,713人)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,209戸</td> <td>47,618人</td> <td>(うち熊本市</td> <td>11,174戸(55%)</td> <td>24,681人)</td> </tr> </table> </div>	応急仮設住宅	4,157戸	10,894人	(うち熊本市	517戸(12%)	1,338人)	みなし仮設住宅	14,895戸	34,201人	(うち熊本市	9,843戸(66%)	21,630人)	公営住宅等	1,157戸	2,523人	(うち熊本市	814戸(70%)	1,713人)	合計	20,209戸	47,618人	(うち熊本市	11,174戸(55%)	24,681人)
応急仮設住宅	4,157戸	10,894人	(うち熊本市	517戸(12%)	1,338人)																				
みなし仮設住宅	14,895戸	34,201人	(うち熊本市	9,843戸(66%)	21,630人)																				
公営住宅等	1,157戸	2,523人	(うち熊本市	814戸(70%)	1,713人)																				
合計	20,209戸	47,618人	(うち熊本市	11,174戸(55%)	24,681人)																				

議題(2) 文化芸術にかかると行政の連携

項目	現状(これまでの取組、課題等)
<p>(2) 文化芸術にかかると行政の連携について</p>	<p>熊本地震により、文化芸術を取り巻く環境が大きな影響を受けた。その復興のためには、県市の連携をさらに強化する必要がある。</p> <p>1 平成28年熊本地震を踏まえた県立劇場と市民会館等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設復旧の連携                     <p>文化団体等の創作・発表等の機会を確保し、県民・市民が実演芸術を楽しむことができるよう、県立劇場と市民会館の復旧工事期間を調整し、同時休館を回避</p> </li> <li>○文化事業の連携                     <p>県立劇場の「アートキャラバンくまもと」事業を熊本市現代美術館などで開催</p> <p>例：佐渡裕とスーパーキッズオーケストラの実施など</p> </li> </ul> <p>2 熊本市立熊本博物館と熊本県博物館ネットワークセンターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○熊本市立熊本博物館における県・市連携による展示内容の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月、熊本市立熊本博物館における県市連携による展示に関する協定書を締結</li> <li>・博物館ネットワークセンターの収蔵資料をリニューアル後の熊本市立熊本博物館で展示（H30年秋の予定）</li> </ul> </li> </ul> <p>3 文化と歴史を縁とする包括連携</p> <p style="text-align: center;">(熊本県・熊本市・東京都文京区・新宿区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○細川家、夏目漱石、小泉八雲という、共通の文化的、歴史的な関わりを活かした、文化、歴史、観光、広報等の相互連携</li> </ul> <p>例：文京区肥後細川庭園改名式典の実施など</p>